

Weekly コラム

平成 27 年 4 月 7 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

それでもガラケー

近年、目覚ましい発展を遂げるスマートフォン(以下スマホ)市場。昨年には、格安スマホが発売され、注目を集めたのは記憶に新しいのではないのでしょうか。今や国内のスマホの普及率は、50%を超えました。しかし、一方で「ガラケー」と呼ばれる従来型のフィーチャーフォンを使っている人が依然として国内ユーザーの約半数に達しています。そんな中、見た目はガラケー、中身はスマホという「ガラホ」が、同業他社に先駆けてAU(KDDI)から発売されました。

この「ガラホ」の特徴は、スマホのようにAndroid OSを搭載してしながら、折り畳み式の携帯電話で、ボタン操作という点です。更に、ボタン部分全体をタッチパネルのセンサーのように使い、指の動きで画面の拡大や縮小が出来る仕様になっています。折り畳み式を好む、あるいはボタン操作に慣れたガラケーユーザーやスマホ初心者のニーズに合ったものと言えます。また、機能面でもLTEやWi-Fiといった高速通信に対応し、容量も格段に増え、カメラも高画質になっています。特に、スマホ市場の拡大につれて、新規に開設されるウェブサイトがガラケーに対応していない例も多いので、インターネットをよく利用するガラケーユーザーには便利です。NTTドコモも今夏に発売を開始する予定です。

しかしながら、これだけ見れば、ガラケーか

ら「ガラホ」に変えるユーザーは限られると思われます。それではなぜ、今「ガラホ」なのでしょう。これは2013年にNTTドコモが「iPhone」の販売を開始したことで大手3社の端末ラインナップが横並びになり、各社の差別化は料金体系に依存する傾向になったことに起因します。そこで目を付けたのが、将来的に3G回線(ガラケーの電波)は改廃される可能性が高いという点です。つまり、いち早く新機種種のラインナップで差別化を図り、ガラケーユーザーの囲い込みに動いていると考えられます。さらに、ガラケーの世帯普及率73.7%、スマホが54.7%(内閣府調査)という点にも商機を見出しているのかもしれませんが、特に、50代以上のガラケーユーザーは他の年代に比べて群を抜いているため、ガラケースタイルを求め続けるユーザーの急減は考え難いと言えます。

今はまだ電波の違いによって、料金の安いガラケーから「ガラホ」への機種変更を求めるユーザーは少ないかもしれませんが、近い将来、スマホとガラホが共存することになりそうです。「ガラホ元年」とは言い難いですが、スマホユーザーの割合が多い20代~30代が高齢化するまでの数十年の間が考えれば、「ガラホ」が市場の大きな話題になる日が来るように思えて仕方ありません。 ..



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。